様式３(2015.06改)

作成日　平成 31年 1月 28日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393800053
事業所名	西島グループホーム　ひまわり

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入し、地域のお花見会や盆踊り、ふれあい祭り、人と人をつなぐふれあいフェア、清掃活動などに参加している。婦人会等の協力得て、事業所でサロン活動を月1回開催し、手芸工作やおやつ作り、消防訓練、炊き出し訓練などを入居者と一緒に行っている。今年度はサロン活動の中で、“認知症サポーター養成講座”を開催し、認知症理解についての講話を通して、地域の方への理解を深めるようにしている。また、今後、地域の方と連携し、“徘徊声かけ訓練”の実施をしていく方向にある。毎日の散歩や買い物、外食などで地域の人との交流を深めている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取り組み　（外部評価項目：３）	
	入居者や家族、区長や民生児童委員、市や包括支援センター職員が出席し、2か月ごとに開催している。事業所の状況報告、地域や市の情報、看取りや事故事例検討などの他に、毎回、「身体拘束、ケアプラン、認知症、徘徊声かけ訓練企画などのテーマに沿って活発な話し合いがされている。認知症についてはサロン活動で実施され、徘徊声かけ訓練は今年度中に実施の予定となっている。意見や要望を積極的に取り入れサービス向上を図っている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	更新手続き代行の折に入所に関する相談をしたり、サロンの開催時には行政担当者に指導や助言を得ている。また、機会あるごとにサービスの内容を伝え、協力関係を深めるようにしている。介護相談員の訪問が毎月あり、情報の提供と共に、共有を図るようにしている。市主催の研修に積極的に参加したり、介護展などへの協力をしている。また、今年度は施設ケアプラン研修会で事例の提供と共に実践発表を行っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	入居者の意見や要望は、日々のケアの中で傾聴や表情からくみ取るようにしている。家族からは、面会時や行事の折りに聞き取り、生活記録や申し送り帳に記入している。家族と共に、いちご狩りや紅葉狩りなど年2回季節の外出をし、食事をしながら意見や要望を聞く機会を設けている。意見や要望は介護計画の参考にしたり、職員で検討し運営に反映している。また、毎月のホームだよりの他に、担当者からのメッセージを添えた写真入りのおたよりは、家族からの信頼や安心感が寄せられている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	－	－	○	○	○	○	○	◎	○	◎	